

# 拡大交流委員会 事業計画

委員長 中川 剛

我々は、ここ数年間にわたり目覚ましい会員の拡大を成し遂げてきました。しかし順調な会員拡大の一方で、今の組織の中心となるメンバーが次々と卒業され、近い将来会員の減少に歯止めが掛らない状態を迎える事となります。この事態を打破するためにも今一度、私たち自身が「誰のため、何のために」運動しているかを確認しながらも積極的に声掛けし交流を図り共に行動する仲間を増やすという目的を持ち会員の拡大に臨む事が重要です。

まず、会員の拡大を行うために意識しなければならない事は、私たちメンバーの青年会議所に対する高い意識であり、それを入会候補者に対しどう伝えるかです。LOMとして会員拡大とは継続すべき重要全体事業であると解釈し、それと同時に修練の場として捉えて頂きます。そして、メンバー一丸となって拡大をするために、入会候補者の情報の共有やOBの先輩諸兄との交流の機会を増やします。さらにはオリエンテーションを開催し青年会議所という組織を理解して頂くとともに、例会やつくば青年会議所が行う事業に積極的に参加して頂き、交流を行う場を構築します。また、スポーツを通じた例会を開催し、共に汗を流し、交流する事でそこに仲間意識が芽生え、これからの運動に対する意識の高揚を図ります。さらには、霞ヶ浦について理解を深めて頂くために、第21回泳げる霞ヶ浦市民フェスティバルへの開催協力をし、他のLOMメンバーとの交流の場を設けます。そして、我々の集大成として12月例会を開催し日頃のJC運動に理解を頂いているご家族の労をねぎらうとともに50名を超える新メンバーを皆様にお披露目する場とします。

青年会議所の魅力を最大限に生かし未来のつくばを考えあえる仲間の拡大に取り組む事で共に過ごす青年期、地域に必要とされる魅力的な組織となるのです。人間関係の希薄化が進むこの時代だからこそ人の心を動かす事が未来のつくばを動かす力そのものなのです。

## 〔事業計画〕

1. 共に運動をする会員の拡大と会員の交流
2. オリエンテーションの開催
3. OBとの交流会の開催
4. スポーツを通じた交流事業の開催
5. 第21回 泳げる霞ヶ浦市民フェスティバルの開催協力
6. クリスマス例会の開催